

## 人工膝関節置換(TKA)の手術を受けられる患者さんへ(2日前入院)

患者ID 氏名	担当医 担当看護師 配布日									
	入院:1病日 /	2病日 /	3病日 /	4病日 /	5病日 /	6病日 /	7病日 /	8~10病日 / ~ /	11~16病日 / ~ /	17~19病日退院 / ~ /
達成目標	手術2日前 手術1日前	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	手術後5~7日目	手術後8~13日目	手術後14~16日目
	・手術の経過について理解できる		・循環動態が安定している		・離床ができる		・創部の浸出液、発赤などの感染徵候がない ・38.0°C以上の発熱がない			・退院指導の内容を理解できる
			・深部静脈血栓症による脚の腫れやしびれ、変色がない ・肺骨神経麻痺の症状がない(下垂足がない、背屈ができる)							
	・痛みによる苦痛がない									
内服	・薬剤師が、持参薬及び服薬状況について確認します			・痛み止めを1日3回、毎食後に内服します(7日間)						
手術・輸血			手術	・貯血をした場合は、自己血を輸血します						
注射			・点滴をします		・点滴を抜きます					
検査	・採血 ・レントゲン ・身長・体重測定		・採血 ・レントゲン	・採血	・採血 ・レントゲン(手術後7日目)				・採血/レントゲン(手術後14日目) ・体重測定(退院日)	
処置		・弾性ストッキングを着用します	・フットポンプをつけます ・手術室で尿の管を入れます ・手術室で創部にドレーン(管)を入れます ・心電図、酸素飽和度モニターをつけます	・尿の管を抜きます ・ドレーンを抜きます ・ドレーン抜去後はCPMを使用して関節の可動域訓練を開始します(1日2回) ・心電図、酸素飽和度モニターを外します					・フットポンプを外します ・弾性ストッキングを脱ぎます	
食事	・制限はありません	・夕食後は、指示された時間から、飲食はできません	・指示された時間からは絶飲食です	・絶食です。医師の指示後、飲水できます	・朝食(常食)から開始となります	・制限はありません				
活動・安静	・制限はありません		・病棟内でお過ごしください	・ベッド上安静ですが、看護師の介助で横向きになります ・排便はベッド上で行いますので、ナースコールでお知らせください	・ベッド上で頭元を上げ座位になります。リクライニング操作は看護師が行いますので、ナースコールでお知らせください				・制限はありません	
清潔	・制限はありません	・シャワー浴をしてください	・洗面、歯磨きを済ませてください	・歯磨き、顔拭きを介助します	・身体を拭きます	・シャワー浴ができます				
リハビリ				・リハビリテーションが始まります						
説明	・入院オリエンテーションを行います ・医師が治療の説明をします ・手術室の看護師が、手術に伴う確認や諸説明をします ・本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します ・転倒・転落予防について説明します ・術前オリエンテーションを行います ・深部静脈血栓症の予防について説明します		・手術後、医師が説明をします						・「人工膝関節置換の手術を受けられた患者さんへ」のパンフレットを用いて、退院後の生活について説明します	
その他	・同意書は職員にお渡しください ・手足の爪を切り、マニキュアは落としてください ・化粧は落としてください ・深呼吸、床上運動、床上排泄などの術前訓練をします ・手術に必要な物品を確認します 【必要物品】 ・T字帯1枚、平オムツ1枚 ・曲がるストロー又は楽のみ ・スプーンやフォーク(必要時) ・リハビリテーションで着用するズボンや靴	・手術衣に着替えます ・義歎、コンタクトレンズ、時計、アクセサリー等は外し、各自保管してください。メガネと補聴器は必要時、手術室までつけていただけます ・貴重品は、ご自身又はご家族で管理してください ・ご家族は2階ティルーム・面談室で待機してください。場所を移動される時は必ず職員へお声掛けください	・深部静脈血栓症予防のため、足首の反り返しを行ってください							
	・痛みがあれば鎮痛剤を使用しますので、我慢せずにお知らせください									

診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がありましたらいつでもお尋ねください。